

九州医師会連合会 第 424 回常任委員会



会長 田名 毅

九州医師会連合会第 424 回常任委員会

日時：令和 7 年 8 月 23 日（土）16：00～16：50

場所：ホテルオークラ福岡 3 階 メイフェア

<次 第>

1. 開 会

2. 九州医師会連合会長挨拶

3. 報 告

- 1) 九州医師会連合会事務引継ぎ(8月5日(火)熊本市)について(福岡)
- 2) 各地区代表者懇談会(8月7日(木)日本医師会館)について(福岡)
- 3) その他

4. 協 議

- 1) 九州医師会連合会第 129 回定例委員総会における議案について(福岡)
- 2) 次回第 126 回(令和 8 年度)九州医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回第 127 回(令和 9 年度)同学会開催担当県の内定について(福岡)
- 3) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における九州ブロックからの候補者推薦について(福岡)
- 4) 九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会(令和 8 年 1 月 17 日(土)福岡市)について(福岡)
- 5) 九州学校検診協議会への補助金について(福岡)
- 6) 医師会立看護学校の存続に向けた支援について(長崎)

7) その他

5. その他

6. 閉 会

去る 8 月 23 日(土)福岡市において標記常任委員会が開催されたので概要を報告する。

1. 開 会

蓮澤会長より開会が宣言された。

2. 挨 拶

九州医師会連合会長 蓮澤浩明

本日は佐賀県 志田正典 会長が欠席のため、森永幸二 副会長が代理出席されることを了承いただきたい。さらに、令和 6 年度決算、令和 7 年度事業計画、予算説明のため、熊本県の水足秀一郎 委員、福岡県の桑野恭行 委員、辻裕二 委員の 3 名に出席いただいているので、ご理解をお願いしたい。また、この後 17 時から定例委員総会を予定しており、円滑な議事進行にご協力賜りたい。

3. 報 告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎ(8月5日(火)熊本市)について(福岡)

去る 8 月 5 日、熊本県医師会館にて、鹿児島県の大西監事、福岡県の瀬戸監事立ち会いのもと監査会と事務引継ぎが行われ、福岡県医師会が会計帳簿や決算書、公印等を熊本県医師会より引き継いだ。

2) 各地区代表者懇談会(8月7日(木)日本医師会館)について(福岡)

去る 8 月 7 日、日本医師会館にて開催された懇談会では、2024 年公益法人制度改革によって、理事及び監事の各 1 名以上は法人外部の人材を選任することが公益認定の基準となった旨説明があった。新基準は現任期終了後に適用されるため、日本医師会では令和 8 年 6 月の定例代議員会で外部理事及び監事を選出予定となる。選出は従来のブロック輪番制を維持し、令和 8 年度は外部理事を北海道ブロック、外部監事を A 地区(北海道・東北・東京・関東甲信越ブロック)から推薦する。なお、対象外とな

るのは、就任前 10 年間に当該法人の業務執行理事等を務めた者や、社員（代議員）などである。

九州ブロックからの外部理事の推薦は令和 20 年を予定し、外部監事は令和 12 年に沖縄県から推薦となる。

3) その他

1) 令和 7 年 8 月 8 日以降の記録的大雨による被害について（福岡）

8 月 8 日以降の記録的大雨で九州各地に被害が発生した。福岡県では 47 件の医療機関で浸水や雨漏り、停電等があり、熊本県や鹿児島県でも被害が出ている。現時点で情報収集中のため、九州医師会連合会からの災害見舞金については、次回常任委員会で検討することを確認した。

4. 協 議

1) 九州医師会連合会第 129 回定例委員総会における議案について（福岡）

同日 17 時開催予定の標記定例委員総会に上程する議事、第 1 号議案から第 8 号議案について提案があり、了承された。

議事

- 第 1 号議案 令和 6 年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件
- 第 2 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会事業計画に関する件
- 第 3 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件
- 第 4 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件
- 第 5 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会監事（2 名）の選定に関する件
- 第 6 号議案 令和 7 年度第 125 回九州医師会医学事業計画に関する件
- 第 7 号議案 令和 7 年度第 125 回九州医師会医学事業費賦課に関する件
- 第 8 号議案 九州医師会連合会会則の一部改正に関する件

2) 次回第 126 回（令和 8 年度）九州医師会医学開催担当県の決定並びに次々回第 127 回（令和 9 年度）同学会開催担当県の内定について

（福岡）

九州医師会医学施行細則に基づき、次回第 126 回（令和 8 年度）の開催を鹿児島県、次々回第 127 回（令和 9 年度）の開催を佐賀県とする提案があり、鹿児島県を正式決定、佐賀県を内定とすることが了承された。

3) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における九州ブロックからの候補者推薦について（福岡）

去る 7 月 26 日開催の第 423 回常任委員会において、日本医師会副会長 釜薙敏 先生の辞任に伴う補欠選挙（10 月 4 日開催予定）に際し、九州ブロックから熊本県医師会の福田会長を副会長候補として推薦することを確認した。福田会長は現職の日医理事を 10 月 3 日付で退任するため、その後任理事については福岡県から蓮澤会長を候補とすることも確認した。

今後の立候補手続きは、福岡県医師会が担当し、9 月 1 日公示、9 月 13 日締切で行われる。推薦人は九州各県会長を中心に 10 ～ 15 名を確保する。また慣例により都道府県医師会長や日本医師会代議員・予備代議員、14 大都市医師会長へ支援依頼文を発出する提案があり、了承された。なお、候補者推薦については、後程の定例委員総会に諮り、正式に承認を得て最終決定とすることが確認された。

4) 九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会（令和 8 年 1 月 17 日（土）福岡市）について

（福岡）

来年 1 月 17 日（土）福岡県医師会館にて、14 時から九州ブロック災害医療研修会を、17 時から救急・災害医療担当理事連絡協議会を開催する提案があり、了承された。研修会は従来 2 日間の日程を 1 日に集約し、内容はこれまでと同様に講演のほか、グループワークを予定している。

5) 九州学校検診協議会への補助金について

(福岡)

九州学校検診協議会から、九州医師会連合会が毎年交付している補助金について、物価高騰等を理由に現行 100 万円から 150 万円への増額を求める要望書が届いた。これを受け、令和 8 年度から 150 万円に増額する提案があり、了承された。

6) 医師会立看護学校の存続に向けた支援について (長崎)

長崎県では、かつて 6 校あった准看護学校が減少し、さらに今年 5 月には長崎市医師会の学校も廃校を決定するなど、状況は深刻化している。最も影響を受ける精神科病院と有床診療所へのアンケートでは、精神科病院は多くが存続を希望した一方、有床診療所では希望しない意見も目立った。郡市医師会による単独運営は困難で、公的支援も見込めないため、県内全体の会員による自助・共助の体制を検討している。参考事例として、佐賀県唐津市で NPO 法人を設立し、寄付金活用に加えて講義や教材、教員などのリソースを共有しながら運営体制を構築していると同っている。長崎県でも定員縮小での存続を模索する一方、不透明さを抱えており、同様の課題に対する他県の対応を伺いたい。

まとめ

- 九州各県とも入学者減少が深刻であり、看護学校の存続は厳しい状況にある。行政からの補助拡充は現実的に難しいとの認識で大方一致した。
- そのような中でも、各県では独自の取組が進められており、佐賀ではふるさと納税を活用した寄附制度により運営支援を実現、鹿児島でもふるさと納税を通じて一部看護学校への支援が行われていた。また、沖縄では全国初となる医師会立看護学校の公立化が進められている。さらに福岡では遠隔授業の導入や外国人学生受け入れを推進しており、各県の多様な試みが共有された。

各県の状況

- 宮崎県でも医師会立看護学校は経営難に直面

し、閉校等が相次いでいる。学校同士の連携については、共同授業を検討したが、カリキュラム進行の違いで実現には至らなかった。県行政に対しては、県内就職率の高さを根拠に、県立看護大学と同等の補助を求めているが現実には厳しい。ふるさと納税や NPO 法人設立の検討はなく、他県を参考にしたい。

- 沖縄県では看護学校運営に特化した寄附制度や NPO 設立の事例はないが、今般、北部地区医師会が北部市町村会・名桜大学と連携し、全国初となる医師会立看護学校の公立化を進め、2026 年 4 月に「名桜大学附属 北部看護学校」として再編予定である。また中部地区医師会もぐしかわ看護専門学校の安定運営のため学校法人化を検討中であり、地域に根ざした独自の体制整備を進めている。
- 大分県には医師会立准看護学校が 5 校あるが、2 年後には 2 校が閉校予定である。県立看護科学大学には年間約 6 億円の交付金が支出されているが、県内就職率は約 5 割に留まる。一方、准看護学校は定着率が高く、県に対して交付金支援を要望している。
- 熊本県では 6 医師会立看護学校（うち 1 校は来年度から学生募集を停止するため除外）は、福岡県医師会が実施しているリモート授業の活用や、外国人学生の受け入れについて検討を進めているが、現状では十分な成果が得られていない。
- 福岡県内には 15 校の医師会立看護学校があるが、このうち北九州小倉看護専門学校と八女筑後看護専門学校の 2 校で、令和 4 年度から授業の効率化と質向上を目的に ICT を活用した遠隔授業を導入している。また、准看護師を志す外国人への支援として、ミャンマーやインドネシアで日本語教育や日本の看護に関する導入教育を実施し、これまでに 11 名が大牟田医師会看護学校へ入学。令和 7 年 2 月にはインドネシア保健省と協力覚書を締結し、今後は受入人数拡大や他校への展開を予定している。
- 鹿児島県でも准看護学校の閉校が相次いでいる。県医師会は県内 4 校の看護養成所へ各

100 万円の助成や准看護師学生募集ポスター作成などで支援している。また、本会が運営する小児・周産期医療対策基金を活用し、医療用モデル人形等の教材贈呈を検討中である。さらに出水郡医師会が中心となり沖縄県医師会と連携し、沖縄県内の学生誘致に取り組んでいる。加えて、薩摩川内市ではふるさと納税を通じ看護学校を支援し、寄附金の一部は甕島での実習旅費に活用された。

- 佐賀県では、ふるさと納税を活用した NPO 等への指定寄附制度により看護学校への寄附が実現し、寄附額の 85% が交付されている。これにより、公用車更新、男女更衣室設置、授業用パソコン更新、啓発事業などに充当され、令和 6 年度には約 900 万円の助成があった。現在、佐賀市でも導入の検討を進めている。

7) その他

特に追加の協議事項なし。

5. その他

1) 「第 24 回核戦争防止国際医師会議世界大会 in 長崎大会」について（長崎）

10 月 2 日～ 4 日、出島メッセ長崎にて標記大会が開催される。7 月上旬、常任委員会でも説明したとおり、大会前日のウェルカムパーティー及び、初日のオープニングセレモニーへ各県会長を招待する旨、案内状を送付したので宜しくお願いしたい。

6. 閉 会

蓮澤会長より閉会が宣言された。

お 知 ら せ

「2026 年版日医君卓上カレンダー」プレゼントキャンペーン実施中 !!

— 日本医師会 LINE 公式アカウントを友だち登録すると抽選で卓上カレンダーが当たる !? —

日本医師会では、昨年ご好評頂きました「日医君卓上カレンダー」の 2026 年版を今年も制作し、600 名の方々に抽選でプレゼントすることといたしました。下記の応募方法に従い、奮ってご応募願います（ただし、ご応募はスマートフォンからのみとなりますので、ご注意ください）。



◆応募方法：

STEP1：右記の二次元コードから日本医師会 LINE 公式アカウントを友だち登録（登録済みの方は自動的に日本医師会 LINE 公式アカウントのトーク画面へ飛びます）

STEP2：送付先等のご質問に回答

STEP3：応募完了！

※当選者には、後日、当 LINE 公式アカウントからご連絡いたします（落選の場合にはご連絡いたしません）。

※応募完了後に当 LINE 公式アカウントをブロックまたは削除した場合には当選が無効となります。

※応募はおひとり様 1 回に限らせて頂きます（複数応募は無効といたします）。



◆応募期間：2025 年 11 月 1 日（土）～ 11 月 30 日（日）

◆問い合わせ先：日本医師会広報課 E-M：kouhou@po.med.or.jp